

林野火災に関する市長記者会見

令和7年3月28日

本日も、記者の皆さまにはご参集いただきまして、ありがとうございます。

発生から6日目となりました。市民の皆様には大変なご心配とご不便をおかけしておりますが、鎮圧に向けてはっきりと希望の光が見えてきていますので、もうしばらくご協力をお願いいたしたいと思います。

本日はまず、「延焼阻止」を宣言させていただきます。「延焼阻止」とは、消火活動により、火勢の拡大、延焼拡大の危険がなくなった状態のことをいいます。

一昨日あたりから、火の手や煙の量が目に見えて少なくなってきておりましたが、そこに昨晚の恵みの雨も加わって、現場の状況は落ち着いております。

本日早朝から、ドローンサーマルカメラ撮影を行いました。結果として複数箇所で熱源を確認しましたが、その後も自衛隊へり、消防防災へりによる散水、地上部隊による消火活動を実施してお

り、延焼の拡大は抑えられています。

こうした状況を踏まえて、今治市として「延焼阻止」の状態にあることを宣言いたします。

「延焼阻止」宣言に伴い、これまで飛び火の可能性を考慮して広範囲に発令していた避難指示を、延焼の危険性が低くなった一部の地域を対象に解除いたします。

避難指示を解除するのは、

- 朝倉北地区
- 旦地区
- 郷桜井2丁目
- 桜井地区
- 朝倉南乙野々瀬地区

以上の合計 2,723 世帯 5,377 人です。

一方で、避難指示の発令を継続するのは、

- 長沢地区
- 緑ヶ丘団地

合計 333 世帯 611 人です。

この二つの地区は、近接地で熱源が感知されたことから、引き続き安全性を確認したうえで、解除を検討したいと考えています。

また、避難指示の解除に伴って、避難所も集約させていただきます。

すでに、本日の朝 9 時 5 分時点で、避難されていた方は全員避難所から退去されています。現在 7 か所開設している避難所を、桜井公民館と朝倉公民館の 2 か所へ縮小いたします。

続いて、「鎮圧」そして「鎮火」に向けて今後の想定スケジュールをお伝えさせていただきます。

本日、「延焼阻止」宣言を行いました。明日・明後日は、ドローンやヘリによる熱源感知と、地上部隊を含めた感知箇所の消火活動を実施し、延焼を安定して制御できていることを十分に確認したうえで、「鎮圧」「鎮火」に向けて活動を進めてまいりたいと考えています。

これまでの懸命の消火活動の成果が確かな形となって、鎮圧そ

して鎮火までの道のりがみえてきました。最前線で消火活動にあたっていただいている消防関係者の皆様をはじめ、災害対応に従事していただいている関係者の皆様に、心より深く感謝を申し上げます。

一方で、鎮圧後もなお、火種が残っている危険がありますので、それを完全に消火するまで消火活動は継続します。完全に火種を消火したことを確認し、消火活動の終了をもって「鎮火」となります。

したがいまして、明日から週末、さらには春休みの時期ではありますが、皆様には引き続きご苦勞をおかけすることとなります。鎮鎮圧・鎮火までご協力のほどよろしくお願いいたします。

なお、本日は、四国電力送配電㈱から、植原松山支社長にご同席いただいております。本日の「延焼阻止」宣言を踏まえまして、懸念が表明されている今治市内の大規模停電に関して、この後ご発言をいただきたいと思っております。

(四国電力送配電からの説明)

ご説明をいただきありがとうございました。

四国電力送配電(株)をはじめ、全国各地から多くの方々からご支援、ご協力をいただいております。火災の状況が落ち着いてきたことを受けて、災害ボランティアや災害寄付の受付も始まっているとうかがっております。皆様からの温かいご支援にあらためてお礼を申し上げます。

続いて、火災被害の状況を報告させていただきます。

現時点で確認されている焼損面積は、この火災全体で 442 ヘクタールとなっており、その内訳は今治市が 423 ヘクタール、西条市が 19 ヘクタールとなっております。

隣接の西条市にまで延焼し被害が及んだことに加え、多くの市民の方が避難指示の対象となり、避難生活を強いられたことは大変申し訳なく思います。

続いて、人的被害は 2 名。いずれも消防団員の活動中の負傷によるものでございます。

次に、建物の被害は、全焼・部分焼け・ボヤを合わせて、住宅

被害が 11 棟、倉庫などの非住家の被害が 10 棟、合計 21 棟の被害が確認されています。

なお、今回の火災の規模についてですが、すでに平成以降の愛媛県内で最大規模の山林火災となっております。本市で過去に発生した、平成 17 年 5 月の「大三島町安神山（あんじんさん）山林火災」、また平成 20 年 8 月の「朝倉笠松山山林火災」と比較しても、今回の火災は極めて規模の大きな甚大な災害であることがわかります。

本日、「延焼阻止」を宣言いたしましたが、火災が再燃する可能性がまったくなくなったわけではありません。鎮火までにはまだまだ長い道のりとなることが予想されますが、引き続き多くの皆様のご協力をよろしくお願いいたします。